

試験研究成果普及情報

部門	病虫害	対象	研究
課題名: センリョウに発生した3種類の新しい病害			
[要約] 千葉県内のセンリョウに発生する黒腐れ症状を伴う立枯れ性病害の発生には、線虫類の被害の他に、 <i>Phytophthora</i> spp.による疫病、 <i>Sclerotium rolfsiil</i> による白絹病、 <i>Rosellinia necatrix</i> による白紋羽病などの複数の新しい病害が関与する。			
キーワード (専門区分) 作物病害 (研究対象) 花き類—他の花き類 (フリーキーワード) センリョウ、疫病、白絹病、白紋羽病			
実施機関名 (主査) 農業総合研究センター 暖地園芸研究所 環境研究室 (協力機関) 農業環境技術研究所 (実施期間) 2000～2002年度			

[目的及び背景]

千葉県内でのセンリョウの作付け面積は約60haあり、近年生産が伸びている品目の一つである。海匝、安房、長生地域では切り枝栽培、山武地域では地堀り栽培が行われている。しかし、センリョウの病虫害に関する知見は全国的にみても少ない。その上、症状がよく似ている病害については診断が難しく、生産現場では病害が発生した場合の対応に苦慮している。平成11年に長生農業改良普及センターより「センリョウの黒腐れ症状」の原因究明と対策について要望されたため、調査を行った。

[成果内容]

1. センリョウの新病害

県内のセンリョウに発生する病害の病原学的試験を行ない、新たに発生した病害として*Phytophthora* spp.による疫病、*Sclerotium rolfsiil*による白絹病、*Rosellinia necatrix*による白紋羽病を報告した(第1表)。また、既知の病虫害では、イチゴセンチュウによる立枯病、ネグサレセンチュウによる根腐れの発生が認められた。

2. 各病害の解説

(1) 疫病

1) 病徴: 春から秋にかけて発生が認められる。特に梅雨時や秋雨時期に多い。根、根冠部および茎の地際部は水浸状に黒変する。地上部では最初一部の枝が萎れ、その後株全体が青枯れ状に萎凋して枯死する。

2) 病原菌とその性質: 本病は*Phytophthora*属菌(疫病菌)による病害である。形態、培養性状および発生時期の違いから、3種の*Phytophthora*属菌が関与していると考えられる。本菌は卵菌類に属す土壤伝染性の病害で、罹病残さ上に形成された卵胞子が土壤中で数年間生存し、一次伝染源となる。罹病部に形成された遊走子が水媒伝染して二次伝染が起こる。

(2) 白絹病

1) 病徴: 梅雨後半から8月の夏季に発生する。症状は根や地際部の茎が暗褐色に腐敗し、地上部は始め下葉が黄化して萎凋し、その後株全体が萎凋して枯死する。被害部や株周辺の地表面には、白い光沢のある絹糸状の菌糸が密生し、やがてその上に茶褐色で菜種粒大の菌核が形成される。育苗中に発生すると苗立枯れを起こし、坪状に枯死する。

2) 病原菌とその性質: 病原菌は、*Sclerotium rolfsiil*で、担子菌類に属す土壤伝染性の病害で、罹病部に多数の菌核を形成する。多犯性で、66科251種の野菜、花きおよび樹木に病気を起こすことが知られる。病原菌は菌核で数年間土壤中で生存し、伝染源となる。菌核は球形～亜球形で大きさは1.0～2.6(平均1.7)mmで、表面は平滑で色は褐色、内部組織は無色である。10～35℃で生育し、適温は30℃で、高温・多湿、酸性条件で発生が多い。未熟有機物の施用は病気の発生を助長するといわれている。

(3) 白紋羽病

1) 病徴: 主に春と秋に発生する。罹病株の根、根冠部および茎の地下部には、白色綿毛状の菌糸が絡みつき、次第に根表面を覆う。根は暗褐色に変色して軟化腐敗する。地上部は、始め株の生育が不良になり、次第に生気を失い、黄化、萎凋して枯死に至る。

2)病原菌とその性質:病原菌は、*Rosellinia necatrix*で子のう菌類に属す土壤伝染性の多犯性病原菌で、43科83種の草本および木本植物で発生が認められている。生育は10~30℃で認められ、適温は25℃である。生きた根や形の残った植物遺体などを含む粗大有機物に形成された菌糸塊が伝染源となり、発病株から根系を伝わり、周囲の株に伝染し、蔓延する。林地で腐生的に生活している場合が多く、開墾地でしばしば多発する。

[留意事項]センリョウの黒腐れ症状に関連する病原菌が他に数種類認められるため、現在病原学的な調査を行っている。

[普及対象地域]県内のセンリョウ栽培地域

[行政上の措置]なし

[普及状況]

[成果の概要]



<センリョウ疫病>

<センリョウ白絹病>



<センリョウ白紋羽病>



<センリョウ立枯病(イチゴセンチュウ)>

<ネグサレセンチュウによる被害>

[発表及び関連文献]海老原ら. 2003. センリョウに発生した3種病害(疫病、白絹病、白紋羽病). 日本植物病理学会報68:印刷中.